

体育科学習指導案

令和〇年〇月〇日 第〇校時

〇〇小学校 〇年 〇組 〇〇名

指導者 〇〇 〇〇

1 単元名 (例) 健康な生活、病気の予防

2 単元について

(1) 教材観 ※教材の特性や単元における指導内容

※学習指導要領の教科等目標や学年の目標、年間指導計画等との関連 など

(2) 児童観 ※児童の学習経験や実態、予想される児童の学習活動 など

(3) 指導観 ※教材観や児童観を踏まえた上での指導のポイントや工夫 など

3 単元の目標 ※単元の目標は「～ができるようにする。」の文末表現で記述する。

(1) …………… 【知識(知識及び技能の場合もある)】

(2) …………… 【思考力、判断力、表現力等】

(3) …………… 【学びに向かう力、人間性等】

4 単元の評価規準 ※評価規準の項目数は、必ずしもこのとおりではない。

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|-----------------------|
| ① ② ③ ④ 【知識について】 ※文末は「～について、言ったり書いたりしている。」 【技能について】 ※文末は「～できる。」 | ① ② ※文末は「～している。」 (例)「見付けている。」 「考えている。」 「伝えている。」など | ① ※文末は「～しようとしている。」 |

5 指導と評価の計画(4時間)

※時間数に応じて、枠を加工して作成する。

※学習内容・学習活動は、例として1~3としているが、自分の授業に合わせて作成する。

| 時間 | 学習内容・学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----|----------------------|---|---|---|--------------|
| 1 | 1 …… 2 …… 3 …… | ① | | | 観察 ワークシート |
| 2 | 1 …… 2 …… 3 …… | | | | |
| 3 | 1 …… 2 …… 3 …… | | | | |
| 4 | 1 …… 2 …… 3 …… | | | | |

4 単元の評価規準に示した評価項目と評価方法を設定し、毎時の評価計画を立てる。

※「主体的に取り組む態度」については、単元全体に評価していくため破線で示している。

6 本時(/ 時)

(1) 目標 ※本時の具体的目標を書く。文末は「～ができるようにする。」

(2) 展開

| 時間 | 学習内容・学習活動 | ○指導上の留意点 ◆評価規準(方法)【観点】 |
|----|-----------|--|
| | 1 …… | ○ …… ○ …… ※教師が特に配慮する点や手立てについて記入する。 ※資料・教具などの活用に関する注意点などを記入する。 (例)「～伝える。」 |
| | 2 …… | 「～促す。」 「～押さえる。」など ◆(例) …… (観察・ワークシート)【知・技】 |
| | 3 …… | |
| | 4 …… | |
| | 5 …… | |

3 単元の目標 4 単元の評価規準 5 指導と評価の計画の具体的記入例

(例) 第5学年 心の健康

3 単元の目標

- (1) 心の発達、心と体との密接な関係、不安や悩みへの対処について、理解することができるようにするとともに、不安や悩みへの簡単な対処をすることができるようにする。 【知識及び技能】
- (2) 心の健康について、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 心の健康について、健康や安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】

4 単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|---|
| <p>①心は、様々な生活経験や学習を通して、年齢に伴って発達することについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②心と体は、深く影響し合っていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③不安や悩みへの対処には、気持ちを楽にしたり、気分を変えたりするなど様々な方法があり、自分に合った適切な方法で対処できることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>④不安や悩みの対処として、体ほぐしの運動や深呼吸を取り入れた呼吸法などについて、理解したことを言ったり書いたりしているとともに、それらの対処ができる。</p> | <p>①心の発達に関する事柄から、心の健康に関わる課題を見付けている。</p> <p>②不安や悩みへの対処について、自分の経験と学習したことを関連付けて考え、選んだ方法がなぜ適切なのか、理由とともに学習カードに書いたり、友達に伝えたりしている。</p> | <p>①心の健康について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習や、資料を調べたり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習に進んで取り組もうとしている。</p> |

5 指導と評価の計画(4時間)

| 時間 | 学習内容・学習活動 | 知 | 思 | 態 | 評価方法 |
|----|---|---|---|---|--------------|
| 1 | <p>1 年齢による感じ方の違いについて、自分の経験や異年齢との比較を通じて考える。</p> <p>2 心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達することを理解する。</p> <p>3 心の発達に関する事柄から、心の健康に関わる課題を見付ける。</p> | ① | ① | | 観察 ワークシート |
| 2 | <p>1 事例を基に、心と体に与える影響、体が心を与える影響について考える。</p> <p>2 心と体は、密接に関係していることを理解する。</p> | ② | | | 観察 ワークシート |
| 3 | <p>1 不安や悩みへの対処には、様々な方法があることを理解する。</p> <p>2 事例などを用いて、どのような対処のしかたがあるか考え、話し合う。</p> <p>3 不安や悩みへの対処について、自分の経験と学習したことを関連付けて考え、選んだ理由を学習カードに書いたり、友達に伝えたりする。</p> | ③ | ② | | 観察 ワークシート |
| 4 | <p>1 不安や悩みの対処法として、体ほぐしの運動や深呼吸を取り入れた呼吸法などについて理解する。</p> <p>2 体ほぐしの運動や呼吸法を行う。</p> <p>3 不安や悩みの対処について学んだことを基に、心の健康の保持増進、回復に進んで取り組めるよう振り返りをする。</p> | ④ | | ① | 観察 ワークシート |

※「主体的に取り組む態度」については、単元全体に評価していくため破線で示している。